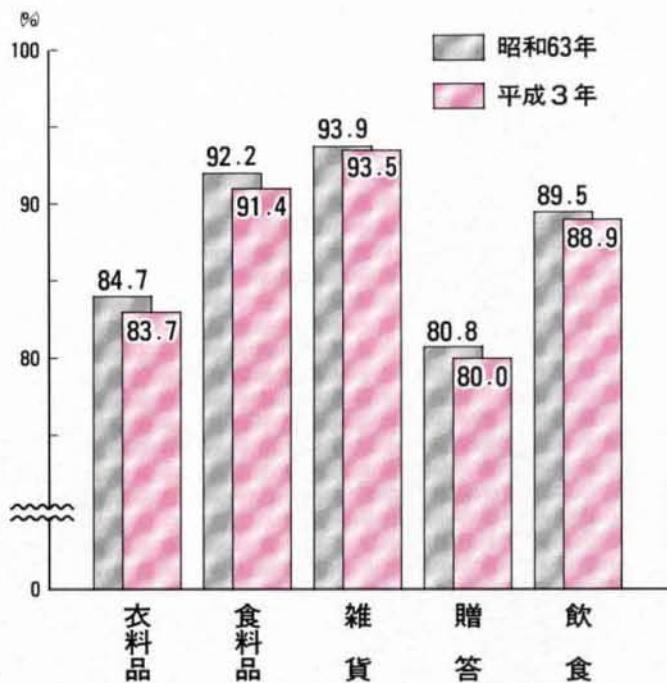


地元で買い物 地元で飲食 地元産品の愛用を！

消費者
動向調査
から

軒並みダウン地元での購買率



あなたは、どこで買い物をしますか。富士市ですか？それとも、静岡や沼津ですか？若い女性は、遠く横浜や東京まで出かけるのでしょうか？

統計調べると、小売販売額で約370億円は、富士市民が市外で買い物した金額です。飲食では、約100億円が市外で使われ、企業などの贈答品の約50%は、市外で購入されているのが現状です。

長引く不況で、商店街は停滞ぎみ。何とか街の活性化を図りたい。ふるさとをもっと豊かで魅力あふれる街にしたいと、ふるさと応援キャンペーンが4月から始まっています。

この運動は、市内の商店や飲食店、町内会、婦人会、消費者団体などが一体となって、「地元で買い物・地元で飲食・地元産品の愛用」を呼びかけています。そろそろお歳暮や忘年会の季節。ことは地元で、ぜひどうぞ！



地元商店(产品)愛用運動

街の活性化につなげたい。

富士市にも、いい商品・いい商店が多いのですが、大体一割五分くらいの人は市外に買い物に行ってしまいます。地元の企業も、贈答品の半分は市外の商店で買っているようです。どうしてもブランド志向というのか、包みの中身は同じであっても、市外の有名デパートの包装紙がいいということなのでしょうか。市外に行ってしまうお客様を食いとめるのは難しいことですが、この時期、何とか地元を見直してほしいと思っています。

もちろん、お客様の言い分もあります。駐車場の少ないと、七時くらいの早い時間に店を開めてしまうこと、品ぞろえのことなど。私たちもただ、「市内の商店街で買い物をしてください」だけでなく、楽しい買い物をしてもらえるように、大売り出しやサービスイベントを考えています。

まず、今月十三、十四の二日間、中央公園で「ふじ商工フェア」を開きます。それから歳末大売り出しと合わせて、商店街では歌謡ショーや海外旅行などを計画しています。また、十二月の金土曜日は、夜八時まで店を開いておこうと話しています。地元商店(产品)愛用運動を、これから街の活性化につなげたいと思います。



富士市商業振興協議会副会長

水上 浩さん

歳末に向けての イベント情報

富士市産業まつり &

第8回商工フェア

富士市の商工業の活性化と消費者サービスの場として、地元商店(商品)愛用運動をPRします

とき 11月13日(土)・14日(日)

ところ 中央公園 10:00~16:00

内容 商業コーナー・工業コーナー・食べ歩きコーナー・円高還元コーナー

主催 ふじ商工フェア実行委員会・地元商店(商品)愛用運動実行委員会

後援 富士市・富士商工会議所・鷹岡商工会

*歳末大売り出し

富士本町・駅南・富士北商店街では……

期日 11月下旬~12月中旬

景品 歌謡ショーご招待

★500円お買い上げごとに補助券を差し上げます

吉原商店街・吉原商業会では……

期日 12月3日~12月19日まで

景品 パリ100名様ご招待

★1,000円お買い上げごとに抽せん券を差し上げます

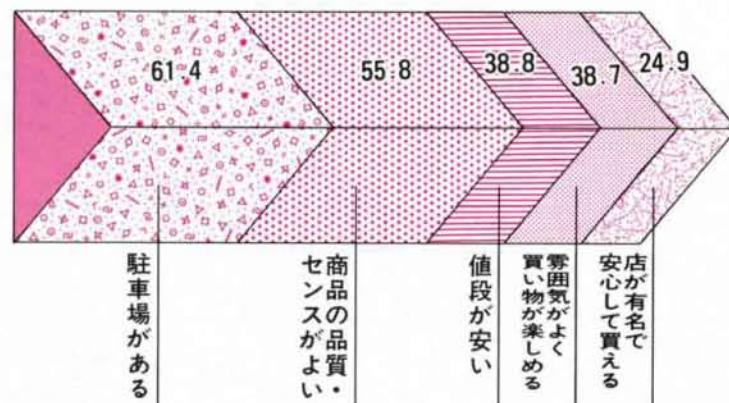
*歳末ウイークエンドナイトセール

12月の週末には市内の各商店街で夜8時まで延長し営業します。これは昼間忙しい人にも夜間ゆっくり、楽しい買い物をしていただくために、商店街ごとにワゴンセルや特売を計画中です。

やっぱりこの街 富士が好き

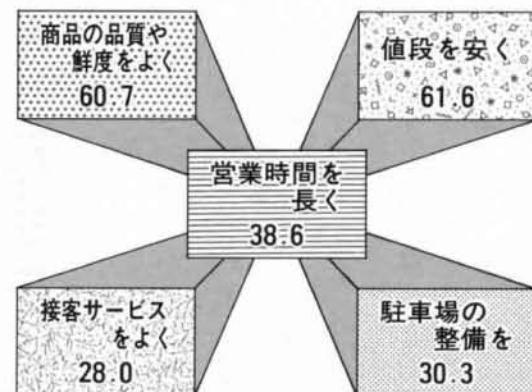
こんなところで買い物したい%

(CD・カメラ・ファッショングル等を買うときの店は)



ベスト

市民から
商店街への要望%



地元で息の長い商売を。

ふるさと応援キャンペーン

私たちの店では、「原点に戻ろう」が合言葉です。お客様との人間的なつながりを大切にしながら、仲居さんの教育や新しい味の掘り起こしを考えています。これからも、地元で息の長い商売をしていきたいと思っていますから。よく「不景気だと地元に戻る」と申します。そのようになることを期待しながら、私たちも自分の店の持ち味をアピールする時期ではないでしょうか。それが商売のコツですし、お客様も自分の好みに合った店探しができますもの。

これから忘年会や新年会のシーズンを迎えますが、こととはどうでしょうか。この不況風を吹き飛ばすように、忘年会も新年会も、市内でも楽しんでいただきたいと思います。地元にも飲食店は数多くあるのですが、企業や一般の方々のご利用が市外の、例えば伊豆方面へお出かけになってしまふ傾向がここ数年ふえていました。ことしは、各飲食店とも皆様に喜んでいただけるよう、それぞれ工夫を凝らしています。それに、今お客様が何を求めていらっしゃるのか、その把握も大切です。きめ細かなサービスなのか、味なのか、値段なのかなど。お客様の要望にどれだけ合わせられるのか、私たちも真剣に考えています。



富士市料理旅館組合

小口信枝さん